

Save the World by

アイハーツ株式会社

ビジネスを加速するツールとしてカスペルスキーを導入、
アンチウイルスだけではなくIT資産管理の効果を高く評価。



■導入先プロフィール

アイハーツ株式会社

従業員数：20名

業種：サービス業

事業概要：スマートフォン專業広告
代理店事業、メディア事
業、受託開発事業

ホームページ：<http://i-hearts.jp/>

■導入製品

Kaspersky Endpoint Security for
Business Core

■保護環境

Windows 7, Windows 8, Mac OS X

ITビジネスにおいて、高度なセキュリティはクライアントの信頼を勝ち取るために必要不可欠な要素と言える。スマートフォン專業広告代理店として急成長を続けているアイハーツ株式会社が、数あるセキュリティソフトの中から採用したのは「Kaspersky Endpoint Security for Business Core」だった。「カスペルスキーは我々のビジネスを加速する重要なインフラと言える」と語る同社代表取締役・野田憲史氏に、カスペルスキーを選んだ理由を伺った。

ここ数年、スマートフォン市場が目覚ましい勢いで拡大を続けている。MM 総研によれば、2009年度には500万台にも満たなかった出荷台数が、2013年度には約3000万台にも増加している。数年前にニッチだったマーケットは、いまや多数のユーザーを抱える巨大なビジネスのフィールドに成長した。

アイハーツ株式会社は、そんなスマートフォン市場と共に成長を遂げてきた「スマートフォン專業広告代理店」である。野田社長が数人の仲間と一緒に同社を創業したのは2010年。スマートフォンが世の中に浸透し始めた、まさに黎明期のことだった。

スマートフォンに特化して 業績が急上昇

「4年前に雑居ビルの一室で、それこそボールを机代わりにして事業を始めました。PCも1台しかなく、使い回していましたね。ちょうどスマートフォンが台頭してきた時期で、ガラケーからの転換期でした。当時はまだスマートフォン專業の広告代理店が少なく、クライアント様も広告予算を持っていな

かったので、まずはガラケーの予算を少しでもこちらに回してくださいという提案から始めたのです」

効果が数字で見えにくいテレビCMや雑誌広告と異なり、「かけた予算に対して、いくら返ってきたのか」が明確なのがスマートフォン広告の特徴だ。広告効果をはっきりと数字で見せることで、アイハーツはクライアントからの信頼を勝ち取り、急成長を遂げていくことになる。

「現在は広告代理店事業の他に、自社でコンテンツを配信するメディア事業と、クライアント様のシステムやソフトウェアを開発する受託業も行っています。たとえば弊社で運営するスマートフォンに特化した検索エンジン『haloo』は、『スマートフォン ポータル』といったキーワードで検索していただくと必ず上位に表示されます。こうした技術力の裏付けもあり、おかげさまで、上場企業など大手のクライアント様も多くなってきました」

セキュリティの強化で さらなる飛躍を目指す

そうした事業の拡大に伴って、課題も出て

きたと野田社長は話す。

「Android OSが登場した1～2年目くらいの時期に、ウイルスがアプリに入っているぞという話が出たのです。たしかに当時、スマートフォン業界のセキュリティ意識はまだまだ低いと言わざるを得ない状況でした。そんな中でクライアント様に信頼していただくためには、セキュリティを強化することが必要不可欠でした。逆にきちんと対策していることが伝われば、それがセールスポイントにもなりますからね」

アイハーツでは現在、情報セキュリティの国際規格である「ISO 27001」の取得を目指しているという。「ISO 27001」とは「組織が適切なセキュリティ対策を行っている」ことを証明する評価制度で、取得するためには厳格な審査を通過しなければならない。そこで野田社長は、より強固なセキュリティを構築するために、社内のシステムをもう一度見直し、セキュリティソフトの導入について検討することにした。

執行役員の片山美樹氏ならびにシステム開発部の矢野宗一郎氏、Webマーケティング事業部の井上憲彦氏といった担当社員らと検討を重ねた結果、野田社長



は「Kaspersky Endpoint Security for Business Core」を採用することを決めた。決め手となったのは「ロコミ」だった。

「正直に申し上げますと、数あるウイルス対策ソフトの中で、もっともネットでのロコミの評判がよかったのがカスペルスキーだったのです。私たちもこうした事業を行っていることもあり、ロコミ評価というのはとても気にしています。他社製品の動作が「重い」、「遅い」などと言われている中で、カスペルスキーの評価がもっとも高かったのです」

ウイルス対策ソフトは、導入前に比較することはあっても、導入してから比較することはなかなかないため、一度導入すると大抵の場合そのまま使い続けることが多い。だからこそ、今回、セキュリティソフトの変更を決めた際、しっかりと見極める必要があったと野田社長は言う。

「導入してみて、やはり間違っていなかったと確信しました。ウイルス検知率も高く、信頼できるのはもちろんなのですが、何よりも動作が軽いことが最大のメリットでした。メモリの消費量が少ないので、常駐時はもちろん、ウイルススキャンが走っている最中でも作業が重くならないのです。インターフェースがわかりやすいこともあり、これまで使っていた他社製品よりもはるかに快適になりました。エンジニアたちの仕事を邪魔しなくなかったので、その点はとても大きかったです。いい意味でセキュリティソフトが入っていることを意識せずにいられます。また、弊社には Mac が数台あるのですが、こちらにも同時に導入できました。Windows や Mac など、OS を選ばないのも非常に心強いです」

アンチウイルスだけではない IT 資産管理の効果

さらに、導入前には予想していなかった嬉しい誤算があったともいう。

「ISO 27001 の審査では、クライアント PC にどのようなソフトが入っているのかなどの中央一括管理が求められます。弊社には 30

台近くの PC があるのですが、すべての PC をいちいち個別にチェックするのは大変です。ところが、カスペルスキーであれば、管理用の PC からネットワークエージェントを介してどの PC にどんなソフトが入っているか、ソフトのバージョンまですべて一元管理できるのです。また、エンドユーザーが無暗に設定を変えられないため、たとえば常駐が嫌だから切ろうとか、常駐スケジュールを変更しようとか、そうした行為を防ぐことができます。これは導入前には予想していなかったメリットでした。会社が大きくなればなるほど、こうした点をチェックする人的コストは増えますから、それを削減できたおかげで仕事の効率が上がったことを実感しています」

「Kaspersky Endpoint Security for Business Core」にセキュリティを任せられるようになり、アイハーツのビジネスはさらなる飛躍を遂げようとしている。同社が目標として掲げるのは、IT を通じて新たなインフラに関わるサービスを提供していくことだという。

「会社の理念として「社会貢献」を掲げていないと、いつかブレてしまうと、起業した際に人からアドバイスをいただいたことがあります。会社が大きくなっても理念がないと、保身や私利私欲に走ってしまうことになるというのです。社会貢献という使命を持ち続けることで、ユーザーの声に耳を傾けて、社会をよりよくしようとしていけるのだと思っています。そこはカスペルスキーさんも同じなのではないでしょうか」

カスペルスキーのミッションは「Save the World from IT threats (IT 上の脅威から世界を救う)」というもの。アイハーツの理念と、どこか共通するものがある。そう告げると、野田社長は深く頷きながらこう続けた。

「ネットを使うユーザーの皆様に安心した環境を提供するという意味では、弊社とカスペルスキーには共通する部分があります。すでにある種のインフラとなっているカスペルスキーと、理念の部分で共感し合えるのは嬉しいことですね。私たちも IT 上の脅威に対しては、カスペルスキーと協調しながら、クライアント様やユーザー様に安心を届けられるようやっていきたいですね」

スマートフォンという新たなメディアを開拓し、急成長を遂げてきたアイハーツ株式会社。ビジネスを加速するツールとしてカスペルスキーを活用し、同社は IT を通じて社会をより良くしていこうとしている。



アイハーツ株式会社
代表取締役 野田 憲史氏



アイハーツ株式会社
執行役員 Webマーケティング事業部 部長
片山 美樹さん



アイハーツ株式会社
システム開発部 矢野 宗一郎氏



アイハーツ株式会社
Webマーケティング事業部 井上 憲彦氏

KASPERSKY

Save the World

<お問い合わせ先>

株式会社カスペルスキー

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-12-8
住友不動産秋葉原ビル 7F

<http://www.kaspersky.co.jp>

お問い合わせは
jp-sales@kaspersky.com